

S.G Report

3月、SGコースの生徒40名を送り出し、4月から3年生49名、2年43名、1年生68名の計160名でSGH指定4年目がスタートしました。

今年度は3年SGコース生徒の総まとめとして、教室や会議室、図書館、図書館に分かれ、SGリサーチプロジェクトの発表会を行いました。3年生はパワーポイントを作成し、1、2年生のSGコースの生徒と意見交換を行いました。

感想をご紹介します。



氏名	研究テーマ
荒川 慧太	もやい直しの活動は人々の生活の豊かさを保障する
今田 雄暉	熊本県における地下水減少に関する研究
小椋 和花	バナナと環境問題
片山 彩羽	割り箸と森林減少
森 葉里	日本の技術輸出によるアフリカの経済改革は、日本人を豊かにする
山内 菜々夏	二酸化炭素を削減しても地球温暖化は解決しない
横川 千夏	レジ袋有料化の浸透には行政・事業者・消費者の連携が必要である
牛島 太治	固定観念と男女平等
末廣 諒	2020年東京五輪のマラソン競技は会場変更すべきである
河津 弥	人口減少はほんとうに悪い事なのか
河津 笑美	食生活を改善すれば環境を含め自分の地域を守ることができるか
芳崎 加菜恵	開発と生物多様性
吉田 胡桃	有機農業を広めるために
吉田 舞衣	ごみ削減の手段としてのリメイク
林田 慎太郎	クリティカルシンキングは、環境問題に関する適切な判断を可能にするか
本田 健祐	水俣環境基準条例は水俣の環境問題を解決することができたのか
北 みづき	企業による環境配慮型製品の販売で環境問題を改善する
近藤 綾香	教育の普及が発展途上国環境問題の解決につながつ

園田 有理	TPPでの食料輸送が環境に与える影響
河合 駿介	摩擦の減少が、エネルギー資源問題解決に有効か
桃崎 一旗	干潟は生物の多様性を守る
宮本 大輔	水力発電は本当にクリーンか
渡邊 涼	経済進出と環境問題
高濱 董	飛行機雲と環境問題
田崎 菜津美	菊池市をもっと元気に
田中 瞳華	食品ロスをなくすフードバンク
生田 瑞稀	環境と経済を同時に潤す
大坪 真優	国内林使用と環境保全
阿久根 慧	商店街のシャッター通りを復興させるには
新 眞琴	自然環境と家庭関係
俵 明日香	自然との関わりを避けることが気候変動に繋がる
近森 美月	分別数を増やすことでごみの排出量は減るのか
藤山 陽香	学校給食における食料廃棄について
庄島 侑希	生ごみを減らして環境保護と快適な生活
三隅 向日葵	意識の変化で生態系を守る
池田 尚子	電気自動車の普及に向けて
柞原 杏香	文化の多様性が森林を守る
中原 亜子	アサリの減少と有明海の環境変化
野中 彩未	メディアと社会環境
本田 幸	レジ袋の削減は必要か
宮本 麻希	植物を使った土壤浄化
渡邊 笑奈	コンパニオンプランツで安心・安全・おいしい農産物
岩岡 菜緒里	熊本におけるカーシェアリング
岩崎 汐里	ごみのポイ捨てをなくすには新しい視点を持った制度が必要だ
松本 紘理香	給食にある鍵
宮田 史香	環境アセスメント法と水俣病
鞭馬 由季	森林減少と木造建築の関係について
高須 栄	ミドリ虫で日本人を健康に
福元 悠哉	光による恩恵を活かす～光媒体による生活向上について～

【1・2年生】

- なぜそのテーマにしたのか、問題提起、研究過程、結論を明確にされていて、とても分かり易かった。
- どの発表も仮説、検証、結論の流れがきちんとできていた。自分の研究課題をほかの人に興味を持ってもらえるように、しっかり研究、情報収集をして自分の課題をより充実したものにしていきたい。
- それぞれの研究テーマや立てた仮説について、色々な視点から調べて解決してあった。思考力、行動力を自分自身も高めていかなければならぬと、とても刺激を受けた。
- 理系分野である気象学を文系である歴史から読み解き調べる、というのは違った視点から考えることができて、とてもおもしろかった。
- 新しい視点から物事を見ている研究が多く、おもしろかった。自分も新たな視点を持たなければ、と思った。またいろいろな論を聞くことで、クリティカルシンキングをする良い機会になった。
- 3年生の研究発表を聞いて、全員に共通していたことは、日常からテーマを発見しているということだ。普段の生活で疑問に思ったこと、不思議に思ったことから研究を始めてあり、研究内容に興味を持ちやすかった。
- 質問を投げかけたり、アイコンタクトをとったりと、ただ紙に書いているものを見むのではなく、話しかける口調で、とてもわかりやすかった。プレゼンの構成も、問題提起から結論へ導くパターンと、問題解決の案、提示から結論を出す2パターンを聞くことができ、勉強になった。これから自分の研究をどのように進めていくか、とても良い刺激を受けることができた。



●この発表会をするにあたって、1、2年生のSGコースの人たちに、これから研究が楽しみになってくれればいいな、と思い準備をしてきた。正直、この2年間の研究は楽ではなくて、大変だと感じる時もあった。でも、その分やりがいを感じられたし、高校生のうちにこのような経験が出来たのは、とても嬉しく思った。

●今まで自分が研究してきたことを発表し、1、2年生のSGコース生に伝えることができよかった。あまり上手く伝えられなかった部分もあったが、1、2年生はしっかり聞いて、質問、指摘してくれ、まだまだ研究不足であるなども実感した。

●今までほとんど接点のなかつた1、2年生の意識の高さも伺うことができた。また、3年生同士、他の人の研究内容を知る機会がほとんどなかつたので、互いに刺激し合えたと思う。個人的にはもっと研究の内容について議論できらよかったですと感じた。日常の中で、友達と真剣に議論し合うことは少ないので、そういう活動ができるSGに参加できてよかった。

●パワーポイントやその原稿の準備不足で、うまくできなかった。論文も1、2年生に質問されると、調べられていないところも見つかり、まだまだだと思った。ほかの人の発表を見ると自分よりも詳しくて分かり易かったので、悔しかった。今回の発表の経験を生かして、今後も頑張っていきたい。



●どの発表にも意見、理由、具体例、結論がきれいにまとまっていた。自分の意見に対する反論も考えてあり、多角的な視点を持っているすごいと思った。私も論文に逆の意見を出したり、具体例を出して、より分かり易い論文にしようと思った。

【3年生】

- 自分の考え方や価値観を広げることができたと思う。ほかの3年生の発表を聞いて、見方を変えるとこんなにも違うことが言える、ということを感じ、興味深いと思った。